（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot久留米			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月27日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	44名	（回答者数）	22名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月27日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動内容を小学生・中学生、年齢や特性に分けて行っている。	月案作成時、曜日ごとのメンバーに合わせた内容を考案している。 当日の事前準備で、急なメンバー変更や個々の特性に応じて変更するなどの工夫をしている。	スタッフが社内・外部研修に参加することで知識を広げ、支援の質の向上を図れるように進めていく。 ソーシャルスキルに対しては事業所外の環境を活用しながら取り組むなど、より活動内容に応じて、適切な環境で活動提供を行う等の工夫をして取り組んでいく。
2	部屋が中高生・小学生と分かれており、別でクールダウンできる部屋がある。	年齢や活動内容などで、小集団で活動を実施するなど工夫をしながら部屋の狭さへの対応やしっかり体を動かす活動などを提供している。 大人数が苦手・落ち着きたいなど色んな状況の子ども達に対応できるよう、個室を準備している。個室が足りない際はパーテーションを活用し、部屋を分けられるようにしている。	パーテーションが古くなってきている為、サイズや形を再度検討して新調する。
3	情報共有をこまめに行い、どのスタッフも丁寧に保護者対応ができるようにしている。	スタッフミーティングを定期的に実施し、業務改善やケースについてしっかり話し合い記録、満遍なく周知・いつでも確認できるようにしている。 井戸端会議など少人数で共有したことも全体に周知する。	スタッフ全員が同じ質の支援ができるよう意識を高めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ビル内の事業所のため、戸外活動などに制限がかかってしまう。	近くの公園や系列事業所などを活用して活動を行っているが、自然に触れる機会や育てる機会などが持ちにくい。	学校休日日を活用し、月案作成時に戸外活動を計画的に設定する。
2	事業所ビル自体が、経年劣化しているため安全性に欠ける部分がある。また、建物の構造上天井が低くボール遊びなどの活発な運動がしにくい状況。	事業所ビルの経年劣化や構造。	定期的に安全点検、補修を実施。 室外の環境(公園や体育館など)も活用し活動を工夫して提供していく。
3			